

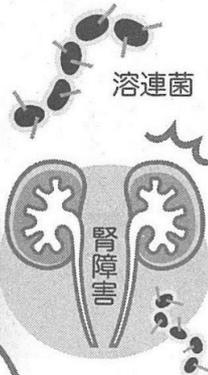
扁桃肥大の治療必要？

Q 子どものころから扁桃肥大と言われ、よく喉が腫れて熱が出ていました。大人になった今でも、ときどき腫れてしまうことがあります。治療した方がいいでしょうか。

A 幼児期には、口蓋垂（のどちんこ）の両脇にある口蓋扁桃（扁桃腺）や口蓋垂のうらにある咽頭扁桃（アデノイド）は大きいのが普通です。4歳ごろがピークで、8〜10歳ごろまでには退縮して問題のない大きさになるのが常です。

大人になっても扁桃炎を繰り返す場合は、要注意です。繰り返す

溶連菌



イラスト/ 仲田育代

SHIMOTSUKE GRAPHICS

りますが、慢性化した扁桃炎の場合には、薬物療法だけで改善するのは難しいことが少なくありません。慢性で薬物療法に反応しない扁桃炎に対しては手術を行うことになりま

手術的な治療である口蓋扁桃摘出術ですが、近年はコフレターと呼ばれる手術器具の登場によって現場は劇的に変化しています。特に出血のリスクは極めて少なくなりました。そのおかげで入院期間も一昔前とは比べものにならないほどまでに短縮されています（2泊3日あるいは3泊4日程度の入院期間）。

健康110番

国際医療福祉大学病院です

④

繰り返す腫れは腎障害に

あまりにも肥大がひどくて、いびきをかい



中川雅文耳鼻咽喉科部長

扁桃炎の原因菌である溶連菌は、反復するうちに慢性の腎障害などを引き起こすからです。

扁桃腺の手術を行うかどうかは、扁桃腺に巣くっているばい菌の種類を確認する細菌培

養検査、菌に慢性的に感染していないかをみる血液検査、腎臓に影響が出ているかをみる尿検査などを行って判断します。検査では一見正常にみえても扁桃を刺激する検査

（扁桃誘発試験）による除菌という方法もあ

よって隠れた感染を明らかにすることもあります。年に4回以上、扁桃腺が腫れる方は、まず専門医に相談するのがよいでしょう。

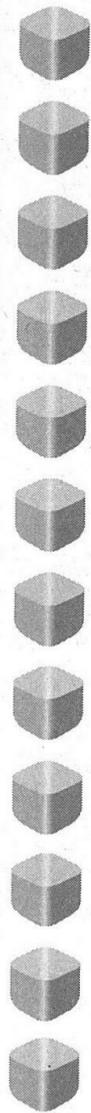
治療は薬物療法によ

（耳鼻咽喉科部長 中川雅文）

（第2、4木曜日掲載）

life

くらし



健康の不安や疑問について、読者の皆さんの質問を募集します。症状や経過をなるべく詳しく、その人の年齢、性別も書いてください。投稿者の住所、名前（ペンネーム可）、年齢、

性別を記入し、〒320-8686 下野新聞社くらし文化部「健康 110番」係へ。住所不要。FAX (028・625・1185)、メール (platina@shimotsuke.co.jp) でも受け付けます。